

1 すみだ教育指針の位置付け

- (1) すみだ教育指針は、教育基本法第 17 条第 2 項に基づく「教育振興基本計画」である。
- (2) 「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」、「墨田区教育施策大綱」及び「墨田区教育委員会教育目標」に基づき、主に学校教育分野における目標・推進計画等を示すものである。

2 計画期間

令和 5 年度～令和 8 年度

3 主な改定のポイント

- (1) 5 つの目標を「知」「徳」「体」「教育環境」「連携」と項目を分けて明確にした。
- (2) 令和 4 年度に改定した「墨田区教育施策大綱」に新たに位置付けられた項目を盛り込み、取組の方向性を明らかにした。
- (3) 取組の方向ごとに指標を設定した。

4 5 つの目標

- 目標 1 夢と希望の実現に向けて確かな学力の定着と向上
- 目標 2 豊かな人間性の育成
- 目標 3 体力の向上と健康の増進
- 目標 4 教育環境の整備と機能強化
- 目標 5 学校（園）・家庭・地域の相互連携と協働

5 すみだ教育指針の進捗管理

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）に基づき、毎年度、第三者評価を実施する。

6 今後のスケジュール

- (1) 11 月議会報告後、パブリックコメントを実施し区民からの意見聴取を行う。
- (2) 教育委員会での議決を経て、令和 5 年 2 月議会にて報告する。
- (3) 千葉大学によるデザイン監修及び事業者へ印刷製本を委託する。

7 目標・取組の方向

目標 1 夢と希望の実現に向けて確かな学力の定着と向上	
取組の方向 1	基礎・基本の定着
取組の方向 2	発展的学習の展開
取組の方向 3	非認知的能力の向上 【新規】
取組の方向 4	STEAM教育の推進 【新規】
取組の方向 5	教員の指導改善と資質・能力の向上
取組の方向 6	国際理解教育と英語力向上を図る取組の推進
取組の方向 7	更なる学力向上マネジメントの推進 【新規】
取組の方向 8	学習意欲の向上
目標 2 豊かな人間性の育成	
取組の方向 1	自己有用感及び自己肯定感の醸成 【新規】
取組の方向 2	人権教育及び道徳教育の推進
取組の方向 3	いじめ防止対策の強化
取組の方向 4	情報モラル教育の充実 【新規】
取組の方向 5	SDGs の取組の推進 【新規】
取組の方向 6	図書館と連携した教育活動の充実
目標 3 体力の向上と健康の増進	
取組の方向 1	体力向上への取組
取組の方向 2	食育の推進
取組の方向 3	部活動における外部人材の活用及び地域移行 【新規】
取組の方向 4	ヘルスリテラシーの涵養 【新規】
目標 4 教育環境の整備と機能強化	
取組の方向 1	教育DXの推進 【新規】
取組の方向 2	不登校対策の充実
取組の方向 3	特別支援教育の充実
取組の方向 4	帰国・外国人児童・生徒への対応
取組の方向 5	教育に関する相談・支援
取組の方向 6	墨田区教育センターの整備
取組の方向 7	民間等と連携した教育活動の充実
取組の方向 8	安全・安心な学校施設の整備
目標 5 学校（園）・家庭・地域の相互連携と協働	
取組の方向 1	地域資源を活用した教育の推進
取組の方向 2	援助や配慮を必要とする家庭への支援に関する連携 【新規】
取組の方向 3	家庭の教育力向上への取組の推進
取組の方向 4	幼保小中一貫教育の推進
取組の方向 5	「地域とともにある学校」の運営
取組の方向 6	郷土文化を守り育てる教育の充実

新たに盛り込んだ主な取組

(1) 非認知的能力※1の向上【新規】

〔取組〕 幼児教育から義務教育にかけての非認知的能力の向上

幼児教育では、豊かな環境の下で、保育計画に基づいた幼児の主体的な遊びや生活での様々な体験を通して、非認知的能力を育み、円滑に義務教育へつないでいく。

義務教育段階では、幼稚園等での取組を基に、各教科等の学習を通して、学びに向かう力の涵養や自己有用感の向上、道徳性の育成など、学びの連続性を踏まえて非認知的能力の向上を図る。

(2) STEAM教育※2の推進【新規】

〔取組〕 探究型の学習の推進

実生活につながる課題の解決等を通じた問題発見・解決能力、言語能力、プログラミング的思考、情報モラル等の情報活用能力など、学習の基盤となる資質・能力の育成を、教科等横断的な視点に立ち、カリキュラム・マネジメントを充実させながら進める。

(3) SDGs※3の取組の推進【新規】

〔取組〕 SDGsと教科の学習内容を関連させた指導力向上のための研修の実施

SDGsは経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に統合的に取り組むための目標であり、様々な教科に関連している。その教科の学習内容がSDGsの目標達成にどのように関連しているかを、授業の中で意図的・計画的に児童・生徒に示していく必要がある。このため、区長部局と連携して作成したSDGsと教科の学習内容を関連させた資料の活用と研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。

(4) 部活動における外部人材の活用及び地域移行【新規】

〔取組〕 部活動の充実

部活動については、生徒のスポーツや文化に親しむ機会を確保するとともに、自主的・自発的な参加による活動を通じて責任感・連帯感の涵養、自主性の育成及び自己肯定感の向上を目指す。

また、生涯にわたり生徒がスポーツや文化活動に継続して親しむことができる機会を確保すること、学校の働き方改革の推進を目的に、持続可能な部活動環境の構築をしていくために、部活動の地域移行を検討する。

(5) 教育DX※4の推進【新規】

〔取組〕 ICTを活用した教育

ICTを活用し、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育を行う。

「すみだGIGAスクール構想授業改善ロードマップ」に基づき、児童・生徒の一人1台のタブレット端末を中心としたICT機器を効果的に活用した教育活動を推進していく。そのために必要な教員の指導力向上を目的とした研修の充実を図る。

〔取組〕 校務改善（働き方改革）

校務支援システムや欠席連絡システム、ファイル共有クラウド等、ICTへの置き換えによる校務の効率化を図るだけでなく、ICTを効果的に活用し、業務のあり方やフローを抜本的に見直すことで、業務の質的向上も図る働き方改革を推進する。

〔取組〕 学校ICT化推進

児童・生徒や教員がいつでもどこでもICTを効果的に活用できるようにするため、計画的な機器更新やネットワーク環境の充実等、ハード面における環境整備を行う。また、デジタル教科書や授業支援アプリ等のソフト面における環境充実や、教員の働き方改革推進のため、業務の実態に即したICT機器・システムのカスタマイズやシステム間の連携等を進める。

用語解説

※1「非認知的能力」とは、テストなどで数値化することが難しい内面的なスキルを指し、目標を達成しようとする意欲や探究心、粘り強さ、自制心、協同性や社交性などのこと。

※2「STEAM教育」とは、Science（サイエンス）、Technology（テクノロジー）、Engineering（エンジニアリング）、Art（アート）、Mathematics（マスマティクス）といった、様々な分野において、教科等横断的な探究型の学習活動を通して問題解決する力を育てる教育のこと。

※3「持続可能な開発目標（SDGs）」とは、2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17のゴールと169のターゲットから構成される。

※4「教育DX」とは、デジタル技術を活用して何をどのように教えるのか、という観点から教育におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、教え方、学び方、働き方を改革していくなどのこと。